

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	起業学 (Theory of Entrepreneuring)		
ナンバリングコード	A20206	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 標準レベル 人間力コア科目/キャリア科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 / 後期
必修・選択区分	選択		
授業コード	A028353	クラス名	吉本クラス
担当教員名	吉本 圭一郎、橋本 堅次郎、泉 丙完		
履修上の注意、 履修条件	<p>あなた自身が起業するつもりで講義に臨んでください。</p> <p>1. 授業中の私語、携帯使用は禁止、また教室では脱帽。</p> <p>2. 必ず自筆のノートを作成すること</p>		
教科書	レジュメやパワーポイントを中心に行います。		
参考文献及び指定図書	<p>「ベンチャー企業論」(柳 孝一、長谷川博和著)放送大学教育振興会発行</p> <p>「ベンチャー創造の理論と戦略」(ジェフリー・A・ティモンズ)ダイヤモンド社</p> <p>「資本主義のための革新」小室直樹書著 日経BP社</p>		
関連科目	経営学入門、マーケティング論、ブランド学、広告論		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	起業への関心を高め、起業についての意欲を持つ。また外部のベンチャービジネスコンテストなどへ挑戦するきっかけとする。	10点		
【知識・理解】	起業の歴史、実際のベンチャー企業への理解を深め、起業に関する会計などの周辺知識を習得する。起業学を通して、簿記や税務等の基礎的な知識を再度確認する。	30点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	レポートや試験の記述を通して、論理的な表現能力を高める。また、上手なプレゼンテーションの仕方等も身につける。	10点	10点	
【思考・判断・創造】	起業についての幅広い思考能力を高め、まず起業への興味を高めて、創造力や判断力も高める。	20点	10点	

○授業の目的・概要等	
授業の目的	今、起業ないし起業支援が各方面から注目されている。日本経済を活性化するためには、自ら新しい商品(技術・サービス)を開発し、新しい市場の開拓に挑戦する「ベンチャービジネス」を始めとする独創的な新しい企業の出現が大きく期待されている。本講座ではベンチャーを起こす意味や社会背景について理解すると共に、学生によるベンチャ一起業家を育成するために、豊かな発想力や行動力をどのように養成したらよいのか、さらには資金面やマネジメントの問題をどう解決すればよいかなどについて学ぶ。独立して企業を立ち上げることは夢かもしれない。しかし事業を成功に導いた人たちには、さまざまな成功則が存在している。本講座ではこれら様々な成功則にのっとりチームまたは個人で起業の準備、ビジネスモデル作成、事業計画などの起業プランを作成し、その立案結果を発表・プレゼンテーションするなど実践を通じて起業のやり方について理解を深める。
授業の概要	3人の先生が交代で授業を行います。先生によって授業の進め方や課題は異なりますが「将来、起業のできる人材を育成する」という目標は同じです。起業者のつもりで授業に臨んでください。
授業の運営方法	(1)授業の形式 「講義形式」 (2)複数担当の場合の方式 「オムニバス方式」 (3)アクティブ・ラーニング
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
実務経験のある教員による授業科目	起業学の先生は、橋本堅次郎・泉丙完・吉本圭一郎氏の全員が、民間企業で働いた経験があります。また、企業の中で新製品開発や第2の創業にも携わってきました。これらの経験を皆さんにわかりやすく説明することで、資金調達だけでなく販路の拡大、人脈の作り方等起業の大変さだけでなく起業の楽しさも実感できます。学生の皆さんに、起業学を理論的かつ実践的に理解できます。また、授業を受けた学生の中から、将来の起業家が生まれることを期待しています。

2019年度 授業シラバスの詳細内容

<p>○授業計画</p> <p>科 目 名 : 起業学 (Theory of Entrepreneuring) 担当教員 : 吉本 圭一郎、橋本 堅次郎、泉 丙完</p> <p>学修内容</p> <p>1. なぜ「起業学」を学ぶのか 最近「起業支援・創業支援」という言葉をよく聞くようになりました。そこで、起業とは何か?なぜ起業するのか?そして、なぜ大学で起業学を学ぶのかについて考えてみましょう。この疑問を考えるに当たり、逆に起業(革新)がなかったならば、これからの世の中はどうなるかを想像するとわかりやすいと思います。少し難しく言うと、革新のない資本主義ということになります。最初の講義は、その辺から入りたいと思います。</p> <p>予習: あなたの周りにある新聞や雑誌の中から企業に関する記事をピックアップしてみましょう。 (約2.0h) 復習: 起業するはどういうことなのか、起業がなかったら、あなたの地元の町がどうなるのかを考えてみましょう。 (約2.0h)</p> <p>2. 創業と守成 (企業の事例研究) 「創業は易く、守成は難し」という言葉があるように、創業は決して易いものではないのですが、創業した事業を守り育成してことは創業よりも難しいものです。企業の事例を説明しながら創業と守成について学生と一緒に考える授業です。</p> <p>予習: 「創業は易く、守成は難し」という言葉の意味について、事前に調べてきましょう。 (約2.0h) 復習: 授業の中で企業の事例をとりあげますので、自分にできる創業を考えてみましょう。 (約2.0h)</p> <p>3. 創業と守成、承継 事業を育て上げた後に待っているのはその事業を次の世代に引き継ぐことです。事業の承継がうまく行かない事例がマスコミを騒がすように、事業承継は大変に難しいものです。実際の承継事例を検討しながら承継について学生と一緒に考えます。</p> <p>予習: 事業承継とはどのようなことなのかをインターネット等で調べてきましょう。 (約2.0h) 復習: 起業と事業承継の関係について、地域活性化の観点から考えてみましょう。 (約2.0h)</p> <p>4. さまざまなお起業家達(1) 起業というとITを中心とした起業を思い浮かべますが実は社会起業家など起業の種類は大変に幅広いものです。また起業する年齢も実はシニア起業家と言われるように中高年の起業の比率は高いものになっています。起業という一言ではかたづけられない世界を事例をあげながら一緒に考えていきます。</p> <p>予習: ホンダやシャープの創業者について、なぜ起業したのかという観点で調べてきましょう。 (約2.0h) 復習: 戦後多くの起業家が日本から生まれましたが、多くの起業家が出てきた理由について考えてみましょう。 (約2.0h)</p> <p>5. さまざまなお起業家達(2) 起業というとITを中心とした起業を思い浮かべますが実は社会起業家など起業の種類は大変に幅広いものです。また起業する年齢も実はシニア起業家と言われるように中高年の起業の比率は高いものになっています。起業という一言ではかたづけられない世界を事例をあげながら一緒に考えていきます。</p> <p>予習: IT業界で有名なマイクロソフトやアップルの起業家について、起業した理由をまとめてきましょう。 (約2.0h) 復習: IT業界で有名なマイクロソフトやアップルの起業家が成功した理由をまとめてみましょう。 (約2.0h)</p> <p>6. eビジネス起業演習(1) 近年、起業に成功したeビジネスの事例を通して、これらのeビジネスの成功要因、社会に与えた影響や技術動向を学ぶ。本演習では、企業に成功したeビジネスを基に、次の時代の新たなeビジネスを提案する。</p> <p>予習: eビジネスとはどういうもののかを、インターネットの中から見つけてください。 (約2.0h) 復習: eビジネスが成功している理由はどこにあるのかを、インターネットの中から調べてきましょう。 (約2.0h)</p> <p>7. eビジネス起業演習(2) 近年、起業に成功したeビジネスの事例を通して、これらのeビジネスの成功要因、社会に与えた影響や技術動向を学ぶ。本演習では、企業に成功したeビジネスを基に、次の時代の新たなeビジネスを提案する。</p> <p>予習: eビジネスとはどういうもののかを、インターネットの中から見つけてください。 (約2.0h) 復習: eビジネスが成功している理由はどこにあるのかを、インターネットの中から調べてきましょう。 (約2.0h)</p> <p>8. eビジネス起業演習(3) 近年、起業に成功したeビジネスの事例を通して、これらのeビジネスの成功要因、社会に与えた影響や技術動向を学ぶ。本演習では、企業に成功したeビジネスを基に、次の時代の新たなeビジネスを提案する。</p> <p>予習: eビジネスとはどういうもののかを、インターネットの中から見つけてください。 (約2.0h) 復習: eビジネスが成功している理由はどこにあるのかを、インターネットの中から調べてきましょう。 (約2.0h)</p>	<p>○授業計画</p> <p>科 目 名 : 起業学 (Theory of Entrepreneuring) 担当教員 : 吉本 圭一郎、橋本 堅次郎、泉 丙完</p> <p>学修内容</p> <p>9. eビジネス起業演習(4) 近年、起業に成功したeビジネスの事例を通して、これらのeビジネスの成功要因、社会に与えた影響や技術動向を学ぶ。本演習では、企業に成功したeビジネスを基に、次の時代の新たなeビジネスを提案する。</p> <p>予習: eビジネスとはどういうもののかを、インターネットの中から見つけてください。 (約2.0h) 復習: eビジネスが成功している理由はどこにあるのかを、インターネットの中から調べてきましょう。 (約2.0h)</p> <p>10. eビジネス起業演習(5) 近年、起業に成功したeビジネスの事例を通して、これらのeビジネスの成功要因、社会に与えた影響や技術動向を学ぶ。本演習では、企業に成功したeビジネスを基に、次の時代の新たなeビジネスを提案する。</p> <p>予習: eビジネスとはどういうもののかを、インターネットの中から見つけてください。 (約2.0h) 復習: eビジネスが成功している理由はどこにあるのかを、インターネットの中から調べてきましょう。 (約2.0h)</p> <p>11. 創業企業の基礎知識 ここでは、実際に起業するまえの基礎的な知識を学ぶ。はじめに起業という言葉を再確認し、その後実際に起業に必要な経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報等)の基礎的な知識について説明を行う。</p> <p>予習: あなたが起業する場合には何が必要かを調べてきましょう。 (約2.0h) 復習: ヒト、モノ、カネ、情報の中であなたが一番必要と思う経営資源を上げ、その理由をまとめてみましょう。 (約2.0h)</p> <p>12. 個人事業と株式会社(1) ここでは、実際に起業するまえの準備事項等について具体的に学ぶ。はじめに独立開業のメリット、デメリットを確認し、その後実際に事業計画や資金計画の立て方などについて説明を行う。</p> <p>予習: 個人事業者になるためには、どのような手続きが必要かを調べてきましょう。 (約2.0h) 復習: 事業計画を作成する場合に、必要な知識についてまとめてみましょう。 (約2.0h)</p> <p>13. 個人事業と株式会社(2) ここでは個人事業の意義やその仕組み等について学ぶ。そして個人事業の所得計算の仕組みや計算方法等についても学んでいく。</p> <p>予習: 個人事業者の所得の計算について、収入と所得の違いについて調べてきましょう。 (約2.0h) 復習: 所得税の計算について例題をもとに解いてみましょう。 (約2.0h)</p> <p>14. 個人事業と株式会社(3) ここでは会社形態、特に株式会社の形態やその仕組み等について学ぶ。そして株式会社の所得計算の仕組みや計算方法等についても学んでいく。</p> <p>予習: 株式会社と個人の設立の違いについて事前に調べてきましょう。 (約2.0h) 復習: 株式会社における益金と損金は、会計学における収益と費用とどう違うかまとめておきましょう。 (約2.0h)</p> <p>15. 個人事業と株式会社(4) 個人事業と株式会社の比較を経営面と税金面で行い、それぞれの特徴を学ぶ。またここでは設例を用いて実際に税金計算を行い、より実践的に学んでいく。</p> <p>予習: 個人事業者が法人化する理由について予習しておきましょう。 (約2.0h) 復習: 所得税計算において、個人と法人の所得性の税率の違いを調べてみましょう。 (約2.0h)</p> <p>16. 期末試験 講義の要点を理解できているかを確認します。配布資料だけでなく、講義で黒板に書いた内容からも出題しますので、ノートはしっかりとってください。</p> <p>予習: 授業で配布したレジュメをよく読んで、分かりやすいようにまとめておきましょう。 (約2.0h) 復習: 期末試験問題で解けなかった問題は再度確認しておきましょう。</p>
--	--